

音を通じての講演会



■ テーマ：「一人一人の音色を世界へ♪」

■ 演奏：北九州フィルハーモニック吹奏楽団

■ プロフィール：『北フィル』こと『北九州フィルハーモニック吹奏楽団』は、平成元年に結成され、定期演奏会、吹奏楽コンクール、地域のイベントへ出演し、クラシック、ジャズ、J-POP、演歌と様々なジャンルの曲目を取り上げています。 ※ 今年のコンクール福岡県大会は銀賞受賞
団員数は約50名で、北九州近郊から音楽が大好きなメンバーが集まっています。 創立36年の、北九州でも指折りの吹奏楽団です。

■ 講演内容：みなさんに、3つの音楽体験をしてもらいます。

- その1) 少ない楽器で演奏し、演奏曲を当てるクイズ。
演奏する楽器の数によって 奏でる音の違いを体験。
- その2) 指揮者体験と、それぞれの指揮者で奏でる音の違いを体験。
- その3) あの世界的な名曲を、みなさんと全員で奏でます。
たくさんの人が協力して奏でる音の迫力と一体感を体験。

インターアクトの歌

ここに集いしわれらは
誇りも高しインターアクト
地域社会に奉仕の理想
示せいまこそそのまこと
ほほえみをもて
さいのべよ手を
世界を結ぼう
インターアクトわれら

2025-2026年度 インターアクト年次大会

ホスト校 苅田工業高等学校
ホストクラブ 苅田ロータリークラブ
コ・ホスト校 行橋高等学校
コ・ホストクラブ 行橋ロータリークラブ



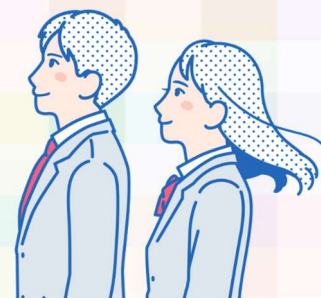
かなで

～一人一人の音色を世界へ♪～

2025-2026年度
国際ロータリー 第2700地区
インターアクト年次大会
2025.07.27

PROGRAM

- 9:30(60) 受付登録開始
- 10:30(60) 開会点鐘
開会の言葉
国歌斉唱
インターアクトの歌 斉唱
来賓紹介および大会主催者紹介
参加ロータリークラブおよび参加校紹介
国際ロータリー第2700地区 ガバナー挨拶
苅田町 町長挨拶
ホストロータリークラブ 会長挨拶
ホスト校 校長挨拶および会長挨拶
第2700地区インターアクトクラブ活動報告
表彰式
- 11:30(10) 休憩
- 11:40(70) 交流会
- 12:50(60) 昼食 / 休憩
- 13:50(60) 音を通じての講演会「一人一人の音色を世界へ♪」
- 14:50(10) 休憩
- 15:00(30) 閉会式
第2700地区 インターアクト国内研修報告
ロータリークラブからのお知らせ
今年度 指導者講習会ホスト校 紹介
次年度年次大会ホスト校 紹介
閉会の言葉および閉会点鐘
- 15:30 閉会



祝 辞

荻田町 町長

遠田 孝一 様

Toda Koichi



国際ロータリー第2700地区インターアクト年次大会が、荻田町で盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

また、本日お集まりの皆様が、ボランティアや国際交流を通じた地域社会への奉仕活動に取り組まれることに、深く敬意を表します。

荻田町は、陸・海・空の交通機関が充実した地域交通の要衝であり、荻田港を中心とする臨海部には日本有数の企業が立地し、世界に誇れる「モノづくりの町」として発展してきました。

今回のホスト校である荻田工業高校は、荻田町のモノづくりを支える多くの人材を輩出してきました。また、インターアクト部の皆さんは、荻田ロータリークラブや地域の方々と連携し、様々な奉仕活動により素晴らしい活躍をされています。

次代を担う若い皆さんには、このインターアクト活動を通じて、さらに交流を深め、自身の成長と未来の可能性を広げていただきたいと思います。

最後になりましたが、本大会のご成功と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



荻田工業高等学校 校長

高田 実 様

Takada Minoru

ご挨拶

本日のホスト校であります「福岡県立荻田工業高等学校」校長の高田実と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー2700地区2025年～2026年インターアクト年次大会の開催にあたり、ホスト校を代表しまして、皆様にご挨拶を申し上げたいと思います。

まず初めに本日までの準備に関わって頂いた関係者の皆さま本当にありがとうございました。今大会に向けて1年以上前から、荻田ロータリークラブの皆さまにご尽力いただき、そしてまた、本校の生徒たちも一生懸命準備に取り組んでまいりました。ホスト校としての十分なおもてなしはできないかもしれませんが、生徒たちが頑張っただけでよかったと思えるような大会になるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

本校のインターアクト部は、昭和54年(1979年)に創部されました。今から46年前ということになります。46年目を迎えて今回の大役を務めることができること、大変うれしく思います。

本日の大会が、学校、地域そして地区を超えてインターアクト部の生徒の皆さんの横の繋がりを、絆を強くしてくれること、そして一人一人が奏でた音色が世界に届いていくことを願い、挨拶のことばといたします。 本日はどうぞよろしくお願い致します。



2025-2026年度
RI第2700地区ガバナー

濱野 良彦 様

Hamano Yoshihiko

ご挨拶

国際ロータリーの青少年奉仕活動の一環として、第2700地区では、長年インターアクトの活動に多くのロータリアンが高等学校の生徒さんとの年齢差を乗り越えて、活動を継続しています。本年度のインターアクト委員会の狩野博司委員長の言葉の中に、単なる奉仕活動ではなく、「人生の部活」と表現され、「活動を継続することで、何事も一生懸命取り組み、自分でも想像できなかった力が身に付きます。そして仲間と共に汗を流すことで、深い友情とリーダーシップを育むことができます」との明言がございます。

本日参加されているインターアクターの方々やお世話を頂いている担当教師の皆様、そしてロータリアンの方々が三位一体となって、立場は違えども、同じ目的を持ってご参集されているのです。

今まさにその「人生の部活」に値する人間関係を醸成している真っ只中いる3者と、これから「人生の部活」を謳歌する3者、そして「人生の部活」を終わろうとしている3者の方々に対して、私たちロータリーという組織は惜しみない支援を行うことにより、そのお返しとして、多くのことをインターアクターから学ばさせて頂いていることも事実なのです。

すでに皆様もご存じの通り、インターアクトクラブの活動には、たくさんの可能性にあふれていて、

- ・ 学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・ 異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・ 学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・ 楽しみながら、世界中に友達をつくる

などの目的が国際ロータリーでは、明確な活動と認められています。

今年の2025年度の国際ロータリーからのメッセージである「UNITE FOR GOOD: よいことのために手を取りあおう」が世界の共通語となっていますが、インターアクターの取り組みは、この言葉通りなのです。これまで長い期間皆様が「よいことのために手を取りあって」来られたものと確信しています。

今後とも、異文化について学んだり、国際親善に貢献したり、また、学校や地元地域でのボランティア活動を通して学校や地元地域でのリーダーとなり、楽しみながら世界中に友達をつくってください。2025年度のインターアクトの年次大会でお話しできることに感謝しつつ、お祝いのご挨拶といたします。

ご挨拶

荻田ロータリークラブ会長

松本 聡

Matsumoto Satoshi



このたびは、インターアクト年次大会のご開催、誠にありがとうございます。日頃より奉仕活動に熱心に取り組んでおられる皆さんの努力と情熱に、荻田ロータリークラブを代表して心から敬意を表します。インターアクトの活動は地域を豊かにするだけでなく、皆さん自身の成長につながるかけがえのない経験です。自ら考え、行動し、仲間と協力して取り組んだ経験は、これからの人生において必ず大きな力となるでしょう。本日の大会が、皆さんにとって新たな気づきや絆を深める貴重な機会となりますことを 心より願っております。そして、今後も変わらぬ情熱と優しさをもって、より良い社会づくりに貢献されることを期待しています。私たち荻田ロータリークラブは、これからも皆さんの活動と成長を応援し続けます。